

英 語

1

解答

問1. ウ 問2. エ 問3. エ

問4. 3番目: キ 6番目: イ 問5. ア

問6. ウ 問7. ウ 問8. エ 問9. イ 問10. ア 問11. エ

問12. エ 問13. ウ・キ

全 訳

《ボトル入り飲料水の誇大広告と消費者心理》

- ① 仮にあなたが、ボトル入り飲料水の方が水道水よりも衛生的だと信じているからそれを好んでいるとしよう。そういう人はあなただけではない。というのも、ボトル入り飲料水の利用者のほぼ半数が、水道水の安全性への懸念を理由の一部、または唯一の理由としてそうした製品を買っているのだ。彼らの動機となっているのは、ボトル入り飲料水がいかに優れているかに関わる統計を引用して語る白衣の広報担当者ではなく、私の机の上にあるクリスタルガイザー・ナチュラル・アルパイン・スプリング・ウォーターのボトルにあるような画像である。片側にはその水源である手つかずのオシピー山脈が描かれており、もう一方では、「常に源泉でボトル詰めして、品質・味・新鮮さを保証しています。違いがあるのです」と公言している。ほとんどすべてのボトル入り飲料水のラベルは、「純粹」、「新鮮」、「自然」である製品であることを誇らしげに語っている。もちろん、それは山や泉、氷河、その他の自然に囲まれた汚れない水源の画像で視覚的に示されている。これが暗に意味しているのは、そのようなボトルに詰められていない水は恐らく、場合によっては人体に危険なほどに、不純で不自然だということだ。この広告戦略は単純に思えるが、これまで非常にうまくいっている。1987年、アメリカ人は平均年間5.7ガロンのボトル入り飲料水を飲んでいたが、20年後にはその数字がほぼ5倍になって27.6ガロンに達し、それは牛乳やビールの消費量を上回った。

② もっとよく調べてみると、ボトル入り飲料水の魅力は、たいていごまかしによるものだとわかる。クリスタルガイザーのボトルには、あなたの台所の蛇口もしくは、他社のボトルから出てくるものよりも高品質であるとか、味が良いとか、新鮮であるとか主張しているものは実は何もない。「違い」はあるかもしれないが、それは何で、何と比べてなのか？ このような作戦の法律上の呼び名は「誇大広告」であり、連邦取引委員会はこれを「一般の消費者は真に受けない」主観的な主張と定義している。誇大広告には、エナジャイザー・バニーのような誇張表現だけでなく、「最高の」、「革命的な」、「洗練された」、「グルメな」、「大好きになるはず」、「何年も若返る」のようなその種の言葉や言い回しや、その他魅力的に聞こえるがほとんど意味を持たない大量の流行語も含まれている。しかし、人々が実際に誇大広告を真に受けていること、少なくとも、それがどのように売り上げを伸ばすか目にするとき、マーケティング担当者が誇大広告を使い続ける気になるのには十分なほど真に受けている、ということは明らかである。

③ ボトル入り飲料水の消費者たちは、確かにその誇大広告を信じ込んできたに違いない。彼らはボトル入りの「不老不死の薬」に対して、水道水の1,000倍の金額をガロン当たりで支払っている。しかしながら、わかったことは、ボトル入り飲料水のブランドの4分の1は水道水であり、それは家庭や公共の水飲み場に水を供給しているのと同じ地方自治体の水源から取られているのである。残りのブランドについては、ラベルの内容は厳密には正しいが、そうした製品そのものは暗黙の約束を果たせていないことが多い。例えば、ポーランド・スプリングは、人工の井戸から水を汲んでおり、その中には駐車場の下にあるものや、ごみ捨て場とかつての違法な下水処理場の間に挟まれたものも含まれる。これらは、定義上は「水源」、つまり、ゆくゆくはそれ自身で地表に湧き出たであろう地下水源だが、ボトルのラベルが思い起こすようなのどかな場所にそれらがあるのではまったくない。実際のところ、水道水の連邦品質基準の方が、ボトル入り飲料水の基準よりもずっと厳格で、より強力に施行されている。したがって、どの特定の水のボトルでも悪い意味で「違っている」可能性があるのだ（もっとも、水道水もペットボトル水も、ほとんどの場合は完全に安全であるが）。

解説

問1. Say は命令形で「(仮に)～だとして」の意味で使われる。Suppose にも「～だとしたら」の意味があるので、ウが適切である。ア. Talk「話す」 イ. Despite「～にもかかわらず」 エ. As long as～「～する限り」

問2. 下線部(2)の意味は、「それはあなただけではないだろう」である。後ろの：(コロン) は言い換えを表すので、「ボトル入り飲料水の利用者のほぼ半数が、水道水の安全性への懸念を理由の一部、または唯一の理由としてそうした製品を買っている」の「ほぼ半数」から判断できる。エ. 「あなたと同じように考える人が多い」が適切である。many who は many (people) who と考える。ア. 「あなたを寂しがらないだろう」、イ. 「誰もあなたの考え方を信じないだろう」、ウ. 「ひどく孤独を感じるだろう」は、いずれも不適切である。

問3. 下線部(3)の意味は、「水源」である。よって、エ. 「その水が湧き出てくる場所」が適切である。ア. 「水のように見えるが、ある料理によく合う特別なソース」、イ. 「汚水を捨てる場所」、ウ. 「水道水に含まれる健康によい成分」は、いずれも不適切である。

問4. 日本語訳を見ると、主語は「水」で述語は「恐らく不純で不自然だ」とわかるので、water not を主語、is probably impure and unnatural を述語と考える。「詰められていない」は not packaged in とする。packaged は過去分詞で water not (being) packaged と名詞を後置修飾する働きである。「そのようなボトル」は such a bottle とする。並べ替えると (The implication is that any) water not packaged in such a bottle is probably impure and unnatural(, perhaps dangerously so.) となる。

問5. 下線部(5)を含む文の直訳は、「もっとよく調べてみると、ボトル入り飲料水の魅力は、たいてい煙と鏡によるものだとわかる」である。次の文に「クリスタルガイザーのボトルには、あなたの台所の蛇口もしくは、他社のボトルから出てくるものよりも高品質であるとか、味が良いとか、新鮮であるとか主張しているものは実は何もない」とあるので、「煙と鏡」は「まやかし」といった意味だと考えられる。ア. 「あなたをだますもの」が適切である。イ. 「正直な人」、ウ. 「燃えるように赤いものなら何でも」、

エ.「あなたをリラックスさせる人ならだれでも」は、いずれも不適切である。ここでの smoke and mirrors は、「ごまかし、巧妙なトリック」の比喩である。

問6. 空欄A直前に than があるので比較の文であり、空欄A以降は全体で名詞節を作るとわかる。ウ. what を主格の関係代名詞と考えると、what 以下で名詞節を作ることができ、意味上も成立するので、これが適切である。イ. water は、意味上は正しいが、water の後に主格の関係代名詞が必要である。主格の関係代名詞は原則として省略できない。ア. it は「クリスタルガイザーの水」を指してしまうので意味上不適切で、関係代名詞もないので文法上も不適切である。また、it は関係代名詞の先行詞にならない。

問7. 下線部(6)の意味は、「『一般の消費者は真に受けない』主観的な主張」である。よって、ウが適切である。those は後ろに複数形の名詞を従え、「そのような類の」の意味である。that は those subjective claims を先行詞とする関係代名詞で、take の目的語を表している。

問8. 空欄Bの前の but に注目すると、その前の appealing「魅力的な」がプラスの意味なので、空欄Bにはマイナスの意味の語が入るとわかる。ウ. none, エ. little がマイナスの意味になるが、mean none という表現はない (mean nothing なら可) ので、mean little (=have little meaning)「ほとんど意味がない」となるエが適切である。

問9. 下線部(7)の後ろの ; (セミコロン) の働きは補足説明で、その後の文は「彼らは、ボトル入りの『不老不死の薬』に対して水道水の1,000倍の金額をガロン当たりで支払っている」となっている。この内容から、「ボトル入り飲料水の消費者たち」が「誇大広告」をどうしたのかを消去法で選ぶと、イ.「～に納得した」が適切である。ア.「～を疑った」、ウ.「～から購入した」、エ.「～によって無視された」は、いずれも不適切である。buy into ~「～を信じ込む」

問10. 下線部(8)の意味は、「残りのブランドについては」である。よって、もっとも意味が近いのはア.「これら以外は」である。as for ~「～について言えば」 イ.「上で述べたように」、ウ.「おそらく」、エ.「休憩をとるといふ話になると」は、いずれも不適切である。

問11. 下線部(9)の意味は、「定義上は」である。これにもっとも意味が近

いのは、エ.「厳密に言うと」である。ア.「偶然に」、イ.「万一のために」、ウ.「決して～ない」、オ.「それを定義すると同時に」(即時性を表す表現)は、いずれも不適切である。

問12. 下線部(10)の意味は、「どの特定の水のボトルでも悪い意味で『違う』可能性があるのだ」である。any の前の that が省略されており、it は形式主語で any 以下の that 節を指す。「悪い意味で『違う』」とは、この文の前半「実際には、水道水の連邦品質基準の方が、ボトル入り飲料水の基準よりもずっと厳格で、より強力に施行されている」より「ボトル入りの水の方が低品質」という意味だと考えられる。この内容を表す選択肢は、エ.「ボトル入り飲料水の方が水道水より純度が低い場合もある」である。ア.「水道水とボトル入り飲料水は、味・価格・人気の点でまったく異なっている」、イ.「水道水とボトル入り飲料水には、後者の方がはるかにおいしいという点を除けば、違いはない」、ウ.「水道水は、ボトル入り飲料水とは違って、かなり汚れた場所から採られている」は、いずれも不適切である。

問13. 第1段の最後から2つ目の文(This advertising strategy …)に「この広告戦略は単純に思えるが、これまで非常にうまくいっている」とある。「この」が指しているのは、ボトルのラベルなので、ウ.「イメージで売ろうとする広告戦略は単純だが、それは圧倒的な成功を収めている」は適切である。また、第3段第4文(Poland Spring, for …)に「例えば、ポーランド・スプリングは、人工の井戸から水を汲んでおり、その中には駐車場の下にあるものや、ごみ捨て場とかつての違法な下水処理場の間に挟まれたものも含まれる」とあるので、キ.「ポーランド・スプリングは、例えば、ごみ捨て場と違法な下水処理施設だった場所の間に作られた井戸からの水を使っている」も適切である。

他の選択肢は、ア.「白衣を着た人物が統計を用いて語る内容にひかれて」は第1段第3文(They are motivated …)前半、イ.「画像も描かれているものはあまりない」は第1段第6文(Nearly every bottled …), エ.「30年後」は第1段最終文のセミコロンの(;)以下(20 years later …), オ.「考えなかった」は第2段最終文(Yet it's clear …)の後半、カ.「水道水を使っていない」は第3段第2文前半(It turns out, …)の内容と一致しないので、いずれも不適切である。

問1. ア 問2. エ 問3. ウ 問4. イ

問5. 3番目：カ 6番目：ア 問6. エ

問7. ウ 問8. イ 問9. ア 問10. ア 問11. ウ 問12. エ

問13. エ

全 訳

《温暖化による地球の危機》

- ① 月曜日に発表された国連の新しい報告書によると、人間は自然が追いつけないほど急速に気候を変えている。温室効果ガスの排出が早急に削減されない限り、人間も野生動物も、温暖化する地球の危険にもう適応できなくなるだろう。
- ② 国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）による最新の報告書は、何百人もの科学者による何年にもわたる研究に基づいており、気候変動のもたらす地球規模の脅威に関するこれまでの重要な評価に続くものである。『ポピュラー・サイエンス』のサラ＝カイリー＝ワトソンによると、約70カ国の270人の研究者によって書かれた3,675ページのその新しい報告書は、人間が引き起こしている気候変動は、これまで研究者たちが予想していたよりも速く起こっており、より大きな被害をもたらしていると結論づけたそうだ。その報告書は、IPCCによる3つの報告書のうちの2つ目である。
- ③ 「事実に次ぐ事実を使って、この報告書は人々と地球が気候変動によりどう痛手を受けているかを明らかにしている」と、国連の事務総長アントニオ＝グテーレスは声明で述べている。「人類のほぼ半数が、危険地帯で暮らしている——今まさに。多くの生態系が、もう引き返せない地点にある——今まさに。野放しの二酸化炭素汚染は、世界でもっとも弱いものたちを強制的に破滅へと進ませている——今まさに」
- ④ この新しい報告書によれば、気候変動は将来の抽象的な脅威ではなく、すでに世界中の地域社会や生態系に被害をもたらしている。『ニューヨーク・タイムズ』のブラッド＝プルーマーとレイモンド＝ゾンによると、2019年には、嵐や洪水などの極端な天候のせいで、アジアとアフリカ全体で1,300万人以上の人々が住処を追われたそうだ。暑さや干ばつは、何百万もの人々の食料や水の供給を脅かしており、海面の上昇が沿岸の地域社会を侵食している。
- ⑤ 近年では、より多くの人々が、気候変動に関係した極端な気象現象に対処

しなければならなくなっており，たとえば昨夏の西部アメリカを襲った致命的な熱波などがある。人為的な温暖化は，昨年ヨーロッパの複数の地域を襲った洪水の可能性を最大で9倍に高め，オーストラリアの壊滅的な山火事の時季の可能性を30%増加させた。

(中略)

- ⑥ 報告書によると，地域によっては他の地域よりも気候変動の影響をより感じていることがわかった。BBCのマット=マグラスによると，2010年から2020年の間にアフリカ，南アジア，中南米の非常に影響を受けやすい地域では，洪水や干ばつ，嵐により世界の他の地域の15倍もの人々が亡くなっているそうだ。また，より温暖化している地球は，たとえばデング熱のような蚊を通じた病気がさらに何十億もの人々に広がるといったような新たな健康リスクももたらしている。

(中略)

- ⑦ その新しい分析は，グラスゴーで行われたCOP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）から約100日後に出てきたもので，その会議では科学者や世界の指導者たちが，地球温暖化を摂氏1.5度までに抑えて，気候変動の最悪の影響を避けることを目指した。人類が19世紀に化石燃料の使用を始めて以来，地球の気温は平均摂氏1.1度，言い換えると，華氏2度上昇している。現在，地球の気温は今世紀末までに摂氏2度から3度の範囲で上昇するペースで進んでいるが，数度の上昇が地球に大きな影響を与えるだろう。

- ⑧ たとえば，CNNのレイチェル=ラミレスによると，地球温暖化が2100年までにぴったり摂氏2度に抑えられたとしても，地上の種の約5分の1が絶滅する大きな危機にさらされることになるそうだ。これが摂氏4度に跳ね上がると，そうした動物の半数が脅かされることになるだろう。サンゴのような一部の動物では，すでに適応する時間が尽きてしまっているかもしれない。

- ⑨ 報告書によると，地球温暖化の影響の多くは「元に戻せない」が，評価をした科学者たちは，それでもまだ行動する時間は残されていると述べている。アメリカのジョー=バイデン大統領を含む一部の指導者たちは，その目標を達成するために温暖化を摂氏1.5度以下に抑えると誓っているが，具体的な計画を提示している国はほとんどない。その境目までに温暖化を

抑えるには、人類は 2030 年までに地球全体の温室効果ガスの排出をほぼ半分に削減し、2050 年までに化石燃料からの排出をほぼ完全になくす必要がある。

解説

問 1. 下線部(1)の意味は「～に基づいている」である。これにもっとも近いのは、ア.「～に起因する」である。イ.「～を心配している」、ウ.「～という結果になる」、エ.「～の前に来る」、オ.「～に先立っている」は、いずれも不適切。

問 2. 選択肢はすべて author「筆者／～を執筆する」を含むもので、The new 3,675-page report と 270 researchers の関係を考えて、「科学者が執筆した報告書」という意味になればよい。エ. authored by が report を後置修飾する過去分詞で report (which was) authored by 270 researchers となり、これが適切である。ウは author of a book「本の筆者」のように使うので、不適切である。

問 3. 下線部(2)の this report はその直前の文の The report を指すので、「IPCC による 3 つの報告書のうちの 2 つ目である」を表す、ウが適切である。

問 4. 下線部(3)の意味は、「気候変動は将来の抽象的な脅威ではない」である。これにもっとも近いのは、イ.「気候変動は今まさに起きている」である。ア.「気候変動はまだこれから起こる」、ウ.「気候変動は将来止まるだろう」、エ.「気候変動はだんだん深刻でなくなっている」は、いずれも不適切である。

問 5. 主語は more individuals「より多くの人が」で、すでに与えられているので、「～しなければならなくなっている」を「強制的に～させられている」と考えて、have been forced to と受動態を作る。force A to do「A に無理やり～させる」の受動態は A be forced to do。been は単独で使えないので、have と合わせて現在完了形を作る。次に「対処する」は deal with で表せ、「対処しなければならなくなっている」なので、forced to の後ろに置いて forced to deal with とできる。最後に deal with の目的語 extreme weather events「極端な気象現象」を置くと、後ろの過去分詞 linked to「～と関係した」につながる。分詞は後ろから前の名詞に説明を加えることができる。並べ替えると (more individuals) have

been forced to deal with extreme weather events (linked to climate change) となる。

問6. 下線部(5)の意味は、「より温暖化している地球は新たな健康リスクももたらしめている」である。よって、エ.「地球の気温が上がると、新たな健康問題が現れる」が適切である。ア.「たとえ地球をより暑くしても、現在の生活スタイルを変える必要はない」、イ.「地球がより暑くなるにつれて、人間の健康への懸念は減っていく」、ウ.「人間が健康に問題を抱えると、地球もまた被害を受けるだろう」は、いずれも不適切である。

問7. 空欄までの文も空欄後の文も完全文である。文と文をつなぐ働きのある関係副詞を選ばよ。the COP26 climate summit を場所だと考えて、ウ. where が適切である。直前のコンマは非制限用法の印で、この用法は、関係詞の指す名詞が固有名詞などの一つしか存在しないものの場合に使われる。エ. which は空所の後の文に名詞の欠落がないので、不適切である。

問8. 下線部(6)の意味は、「数度の上昇が地球に大きな影響を与えるだろう」である。よって、イ.「気温が2, 3度上がると、地球に大きな影響が出る可能性がある」が適切である。ア.「もし地球が数度温かくなれば、それは最新のニュースになるかもしれない」 ウ.「たとえ地球の気温がもっと高くなっても、私たちは対処できるだろう」 エ.「気温が上がっても、地球にはほとんど影響がないだろう」

問9. 下線部(7)は a+序数詞なので、分数を表す表現である。よって、アが適切である。a が分子、fifth が分母を表す。

問10. 下線部(8)の意味は、「適応する時間が尽きてしまっている」である。out of ~ 「～がなくなっている」 この段では、温暖化によって動物が危機にさらされると書かれているので、ア.「気候変動についていくことができない」が適切である。keep up with ~ には「～に遅れずについていく；(変化など)に対処する」という意味がある。イ.「気候変動とともに生きる準備ができています」、ウ.「気候変動に抗う可能性が高い」、エ.「気候変動に対処することに慣れている」は、いずれも不適切である。

問11. 空欄Cを含む文の意味は、「報告書によると、地球温暖化の影響の多くは『元に戻せない』C、評価をした科学者たちは、それでもまだ行動する時間は残されていると述べている」である。ここには文が2つ

含まれているので、接続詞の働きのある選択肢を選ぶ。前の「元に戻せない」というマイナスと、後の「時間は残されている」というプラスの内容をつなぐのは譲歩なので、ウ.「～だけれども」が適切である。イ.「～にかかわらず」は of の後ろに名詞（句）がくる。エ.「不運にも」に文をつなぐ働きはない。

問12. 下線部(9)の意味は、「～より多くない」である。no more than ～については、only と交換可能な「～にすぎない」という意味が一般的であるが、ここでは not more than ～「多くても～」とほぼ同意である。よって、エ.「最大で、せいぜい」が適切である。ア.「～を超えて」、イ.「だけでなく」、ウ.「ついに」は、いずれも不適切である。

問13. 第7段第2文（Since humans started …）に「人類が19世紀に化石燃料の使用を始めて以来、地球の気温は平均摂氏1.1度、言い換えると、華氏2度上昇している」とあるので、エ.「人類が化石燃料を使い始めた19世紀以降、地球の温度は平均で摂氏1.1度（華氏2度）上昇した」が適切である。ア.「達していない」は第3段第3文（Many ecosystems are …）、イ.「130万人以上」は第4段第2文（In 2019, extreme …）、ウ.「最大9倍」は第5段最終文（Anthropogenic warming increased …）、オ.「2050年」は最終段最終文（To limit warming …）の内容と一致しないので、誤りである。

3

解答

1—(ア) 2—(イ) 3—(イ) 4—(イ) 5—(エ)

解説

1. 「1頭のライオンに率いられた羊の群れは、1頭の羊に率いられたライオンの群れに勝つだろう」

sheep は単複同形なので s をつけない。よって、(ア)が誤りである。(イ) led は過去分詞で、an army of sheep is led by … という受動の関係を作っている。

2. 「恐れは火のようなものだ。制御されていれば、それはあなたの助けになるが、制御されていなければ、立ち昇ってあなたを滅ぼすだろう」

(イ) if it controlled は、「それ（＝恐れ）が制御したなら」という能動の意味になるので、これが誤りである。if it is controlled が正しい。(ウ)は if

it is uncontrolled から it is のまとまりが省略されているので正しい。

3. 「この世につまらない対象などというものは存在せず、唯一存在し得るのは無関心な人だけだ」

(There is no) such *A* as *B* は構文で「*B* のような *A* (は存在しない)」という意味である。よって、(イ) as of が誤りで of が不要である。ちなみに、as of ～「～(時)の時点で」という成句はある。

4. 「生き残るのは、種のうちでもっとも強いものでもっとも知能が高いものでもなく、変化にもっともよく適応するものである」

この文は It is not *A* that *do*, but *B* の強調構文(分裂文)である。よって、(イ)が誤りで、that [which] に変えなければならない。形としては、It is not *A* but *B* that *do* から、強調のために but *B* を文末に置いたものである。(ア)は not *A* nor *B* の一部だが、これは not *A* or *B* 「*A* も *B* もない」の強意形である。the strongest と the most intelligent は名詞だと考えればよい。the most open to change は「変化をもっとも受け入れる」という意味の形容詞句になっており、後ろから ones を修飾している。open は形容詞で「受け入れる、開いている」の意味。

5. 「完璧とは、これ以上加えるものがないときのことでなく、これ以上取り除くものがないときのことだ」

no more の more は名詞で、no more things と考えるとよい。no more (things) to take it away とすると、it が不要なので(エ)が誤りである。You need someone to talk to 「君には話し相手が必要だ」のように、修飾する名詞が to 不定詞の目的語である場合、後ろにはその名詞(someone)の入る場所が空いていなければならない。

4 解答

1ーイ	2ーエ	3ーウ	4ーア	5ーエ	6ーウ
7ーア	8ーイ				

解説

1. 「その提案に何か問題があったらどうするのか」

What if *S V* は成句で「もし～だったらどうなるだろうか」という意味である。よって、イが適切である。他の選択肢は if につながらないので、いずれも不適切である。

2. 「ジョンはドアを開けたままにしておくべきではなかったが、そうし

た」

should not の後ろには動詞の原形が来るので、エが適切である。should not have *done* 「～すべきではなかった（のにしてしまった）」 keep O C 「OをCの状態に保つ」で、open は形容詞である。イ. be kept は受動態になるので意味が通らない。

3. 「現金が足りなかったの、彼女はお店で困っていた」

be short of ～で「～が不足している」の意味なので、ウが適切である。アやイは be in want [need] of ～で同じ意味を表せるが、in がないので不適切である。エ. lack は be lack of という形をとることはできず、She lacked cash とするか、She had a lack of cash としなければならない。

4. 「パーティー用のパンが足りないよ。帰り道でもっと買うのを忘れないでね」

remember to *do* で「(これから) することを覚えている」、remember *doing* で「(今までに) したことを覚えている」という意味になる。よって、アが適切である。

5. 「隣の人のはあの大きな箱をどかさないといけない。あれって本当に邪魔なんだ！」

in the way で「邪魔になって」という成句なので、エが適切である。イだと by the way 「ところで」、ウだと on the way 「途中で」という意味になる。

6. 「アメリカのどこで育ったの？」

S grow up 「Sが育つ」なので、ウが適切である。アの受動態は、主語に人を置けない。他動詞 grow の目的語は「植物など」である。イの rise は自動詞なので受動態にできない。エの raise は他動詞で「(人) を育てる」という意味なので、不適切である。

7. 「『運賃』という言葉は、電車・飛行機・バスなどに乗るために払うお金を意味する」

ア. fare 「交通機関の料金」なので、これが適切である。イ. fee は「入学・入場の料金や弁護士などの利用料金」、ウ. salary は「定額の給料」、エ. tax は「税金」という意味なので、いずれも不適切である。

8. 「スパイシーチキンはサラダと一緒に食べるとおいしい」

本来、接続詞 when の後ろには節がくるので、it is eaten with salad と

なるが、選択肢にない。接続詞を残す分詞構文であると考えれば、when being eaten with salad となり、being は省略できるので、イが適切である。